


令和2年度 総務部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
総務部長 岡田 誠	<p>●使命 私たち総務部は、総合計画に掲げる「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」の将来像に向かい、顧客満足度を第一に市民ニーズにこたえる市役所をめざすとともに、市民が安全で安心できる暮らしを実現するため、行政、市民、地域が一体となった取り組みを行い、市民の防災意識、交通安全意識、防犯意識の向上を図ります。</p> <p>●基本方針</p> <p>①市民ニーズにこたえる市役所をめざして、全体の奉仕者として市民の期待に応える職員を育てます。</p> <p>②市民が将来にわたって安心して暮らせるように、日頃から災害に備え、いざという時に素早く行動できる防災意識の高いまちをつくれます。</p> <p>③防災意識の高いまちをめざして、市民の防災意識の高揚と、職員の防災・災害対応能力の向上に努めます。</p> <p>④交通事故ゼロのまちをめざして、交通安全推進団体と連携し、交通安全の教育や教室、啓発活動を実施します。</p> <p>⑤住んでみたい・住み続けたいと思える住宅があるまちをめざして、瀬戸内市空家等対策計画に基づき、空家等による問題の発生予防に取り組み、周囲に悪影響を及ぼしている空家等への指導を行います。</p> <p>⑥災害から市民の生命を守るための防災情報を正確かつ迅速に伝える新たな情報伝達手段のシステムを構築します。</p>	所管課	総務課・危機管理課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			22人	9人	31人
		一般会計	455,134 千円		
		特別会計	千円		
		計	455,134 千円		
		(うち人件費)	(206,153 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1 私債権等の適切な管理	非強制徴収公債権及び私債権（以下「私債権等」という。）を適切に管理するため、問題を解決するための手順や庁内体制等について検討します。	私債権等の現状（滞納額、消滅時効の成立状況、回収可能性、現在における徴収状況と問題点等）を洗い出すとともに、問題を解決するための手順、体制等を検討します。その後、市政に与える影響を可視化し、例規の制定等今後の方向性を決定します。	事前に把握し、早期に処理しておくべき課題及び案件等について、関係各課等と調整し、洗い出しを行っています。今後、当該課題等について対応しながら、例規制定等の方向性について具体的な検討を進めます。	当該課題等について対応しながら、例規制定等の方向性について具体的な検討を進めています。	例規の制定には至っていません。引き続き関係各課と情報を共有し、事務の分担を明確にするとともに、適切な管理体制の構築を目指します。
2 働き方改革及び職場環境向上への取り組み	働き方改革により、ワークライフバランスを推進するとともに、労働安全衛生法に則ったストレスチェックの実施等のメンタルヘルス対策やハラスメント対策等、職場環境の向上に引き続き取り組みます。	<p>職員の負担軽減を図るため、引き続き、宿日直の外部委託の検討を進めます。</p> <p>ワークライフバランスを推進するため、業務改善に係る職員研修を実施します。</p> <p>ハラスメントに関する例規を制定し、ハラスメントの防止に努めます。</p>	<p>具体的な検討ができていません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上半期は原則職員研修の実施は見送っています。職員の業務改善を目的として業務可視化の方法を検討し、10月に実証実験をする予定です。</p> <p>ハラスメント対策については、職場内での発生防止、働きやすい職場環境づくりのため、10月に管理職向け、一般職員向けの職員研修を実施する予定です。</p>	<p>具体的な検討ができていません。</p> <p>職員の業務改善を目的として業務可視化の方法を検討し、10月に実証実験をしましたが、職員への負担が想定以上に大きく、導入は困難との結論になりました。</p> <p>10月30日にハラスメント防止研修を行いました。受講者数44名。ハラスメントに関する例規については、内容を検討中です。</p>	<p>具体的な検討ができていませんが、今後も実現に向けて取り組みます。</p> <p>実証実験したシステムの導入には至らなかったため、DX戦略室等と新たな業務可視化の方法等を模索し、業務改善につながる実効性のある取組の実現を目指します。</p> <p>例規の制定には至っていません。市長部局以外の部局との調整や事務分担が必須のため、次年度には具体的な調整等を行った上で、例規を制定し、施行します。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>市民の防災意識の啓発と自主防災組織の育成</p> <p>市民の防災意識の高揚と自主防災組織の結成促進を図るため、令和元年度に新たに作成した防災ハザードマップを活用した出前講座を開催します。</p> <p>出前講座や防災リーダー養成講座等を通して、地域の自主的な防災活動を積極的に推進する認定自主防災組織を増やしていきます。</p> <p>自主防災組織が開設する避難所届出制度の啓発をして、登録件数を増やしていきます。</p>	<p>出前講座 20回 (令和元年度 19回)</p> <p>市内自主防災組織 185団体 うち組織認定 60団体 (令和元年度末 49団体)</p> <p>出前講座等での周知を図ります。 新規認定 5件 (令和元年度 3件)</p>	<p>出前講座 4回</p> <p>市内自主防災組織 186団体 うち組織認定 51団体</p> <p>新規認定 3件</p>	<p>出前講座 9回</p> <p>同左</p> <p>同左</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により出前講座は年間10回</p> <p>市内自主防災組織 187団体 うち組織認定 52団体</p> <p>同左</p>
4	<p>職員の防災・災害対応能力の向上</p> <p>災害時における職員の危機管理に対する日常的な自覚や災害対応能力の向上を図るため、職員研修を実施します。</p> <p>市の災害対策体制や、各種マニュアル等の見直しを進め、感染症対策も考慮した防災等危機管理対策の強化を図ります。</p>	<p>職員を対象とした災害時における危機管理研修を実施します。</p> <p>教職員を対象とした学校における防災教育研修を実施します。</p> <p>水害を想定した市総合防災訓練を実施します。</p> <p>避難勧告等に関するガイドライン、避難所運営マニュアル等の見直しを行います。</p>	<p>7/16 避難所設置訓練を実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策で中止</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策で中止</p> <p>見直し中</p>	<p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>避難所運営マニュアル見直し中 避難勧告等に関するガイドライン見直し中</p>	<p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>修正を完了</p> <p>令和3年5月の災害対策基本法改正を視野に見直しを継続</p>

	重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
5	交通安全教育・教室及び啓発	<p>正しい交通ルールとマナーを理解し、安全な行動がとれるよう幼児期からの交通安全教育を行います。</p> <p>また、交通事故防止を図るため、警察署、交通安全推進団体、交通安全ボランティア等と連携し交通安全教室や啓発活動を実施します。</p> <p>高齢ドライバーのペダル踏み間違いによる交通事故防止や事故時の被害を軽減するため、後付けのペダル踏み間違い急発進等抑制装置（安全運転支援装置）の設置費補助を利用した設置を促進し、高齢ドライバーや市民の安心安全の向上を図ります。</p>	<p>交通安全教育（教室） （保育園・幼稚園 26回）</p> <p>交通安全教室 （高齢者・一般 5回）</p> <p>交通安全啓発 （春・秋交通安全運動10回）</p> <p>交通安全フェスタ開催 （9/13 300名）</p> <p>市内人身事故発生件数 令和2年50件以内 （平成31年1月～令和元年12月 32件）</p> <p>市ホームページ・広報紙等で周知を図ります。 申請件数 30件</p>	<p>12回実施</p> <p>高齢者教室実施 1回（9/27）</p> <p>10回実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策で中止</p> <p>発生件数 40件 （令和2年1月～9月）</p> <p>市ホームページに4月掲載及び広報紙8月号に掲載 申請件数 1件</p>	<p>21回実施</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>発生件数 59件 （令和2年1月～12月）</p> <p>同左</p> <p>申請件数 3件</p>	<p>30 回実施</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>同左</p> <p>申請件数 6 件</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
6	空家等による問題の発生予防	<p>空家等を特定空家等に認定するために必要な現地調査の実施を行います。</p> <p>空家等の利活用に関する情報の提供や適正な管理を行うことの重要性及び周辺地域にもたらす諸問題の啓発に努めます。</p> <p>空家等除却支援事業を活用して積極的な除却についての促進を図ります。</p>	<p>空家等を特定空家等に認定するために必要な現地調査の実施を行います。</p> <p>市ホームページ・広報紙等で周知を図ります。</p> <p>市ホームページ・広報紙等で周知を図ります。 補助金申請件数 3件</p>	<p>補助金の事前相談による現地調査の実施</p> <p>7/3・9/16認定審査会を開催し、情報の共有を図る。 認定 1件</p> <p>広報紙7月号に掲載</p> <p>市ホームページに4月掲載及び広報紙7月号に掲載 申請件数 1件</p>	<p>1件の交付決定、実績提出済み</p> <p>10/7に空家等利活用促進協議会を開催し、情報の共有を実施、11/13認定審査会を実施、1件の認定を行う。 認定 2件</p> <p>同左</p> <p>同左</p>	<p>同左</p> <p>令和2年度2件を認定</p> <p>同左</p> <p>同左</p>
	防災情報伝達システムの構築	<p>市の防災行政無線は設置から13年以上経過し、設備を更新する時期が来ているため、令和元年度の瀬戸内市防災情報伝達システム基本構想・基本計画に基づき、より多くの市民に災害情報を伝える瀬戸内市にとって最適な防災情報伝達システムを構築します。</p>	<p>瀬戸内市防災情報伝達システム基本計画に基づき、今年度の工事着工を目指します。</p>	<p>プロポーザル方式で事業者を決定、契約を締結。</p>	<p>詳細設計実施中</p>	<p>詳細設計を実施</p>